

令和5年度 第3回 (仮称) 図書館中部館建築設計検討委員会

ふりかえり

意見1 太陽光発電設備を設置したい。

回答1 イニシャルコストとランニングコストの比較によるコスト面など、彦根市としてプラスになるのであれば、今後、検討したいと考えます。

意見2 ブックポストについて、北風などの横風に対応できていない。

回答2 実施設計の中で検討したいと考えます。

意見3 雑誌タイトルについて、現在でも160タイトルあることから、将来的なことを考えると120タイトルでは少なすぎる。

回答3 現図書館と(仮称)中部館の2館で、現在の160タイトル以上を確保したいと考えますので、120タイトルのままとします。

意見4 カウンター内からカウンター前が出る通路が、1カ所では少なすぎる。

回答4 資料3のP5のとおり、L型カウンターを連続させるのをやめて、直線状のカウンターを2本としました。

意見5 通路部分が跳ね上げ式のカウンターになっているが、使い勝手が悪い。

回答5 資料3のP5のとおり、修正しました。

意見6 利用者から事務室内、職員からフロア内が見えるよう、ガラス張りにした方がよい。

回答6 建築基準法の規定に基づく防火区画を構成する防火戸となることから、ガラス張りではなく、ガラス窓を設けた引き戸とします。
なお、常時開放か常時閉鎖かについては、今後、実施設計の中で検討したいと考えます。

意見7 ヤングアダルトコーナーについて、どのようなサービスがしたいのか、どのようにして10代の利用者をここまで誘導するのかなど、工夫が必要である。

回答7 今後、他館での運用を参考にしながら、実施設計の中で検討したいと考えます。

意見8 2階にあるカウンターは、(スペースが的に見て)少し物足りない。

回答8 職員の配置については、カウンターに1名、事務室に1名の計2名を想定していますので、このままとします。

意見9 自動貸出機をどのように運用するのか、検討する必要がある。

回答9 今後、他館での運用を参考にしながら、実施設計の中で検討したいと考えます。

意見10 (1階 一般開架室の奥) レファレンスコーナー、ヤングアダルトコーナー、閲覧コーナー、グループ学習室、対面朗読室について、図書館としての狙いなり、方向性が見えてこない。

回答10 資料3のP6のとおり、修正しました。

意見11 2階 親子ラウンジ・イベントスペースについて、椅子(ソファ)に上がった状態で下を見た時に、乗り出しすぎて体が転落する恐れがある。

回答11 資料3のP7のとおり、修正しました。

意見12 ヤングアダルトコーナーの手前にある大活字本や朗読CD、いわゆる読書バリアフリー資料の利用者については、高齢者が非常に多い中、利用者の動線としては、疑問に思う。

回答12 資料3のP6のとおり、修正しました。

意見13 避難経路について、次回、図面で確認したい。

既存の建物より面積が増えるので、2方向避難に留まらず、利用者の安全性をいう視点で検討してほしい。

回答13 資料3のP8とP9において、避難計画を示しています。

意見14 2階(カウンターとは別)に、フロア要員を配置してほしい。

回答14 フロア要員については、配置することは難しいと考えています。

意見15 先進的に取り組んでいる図書館では、子どもの本があるところに子どもの本に関わる大人たちの勉強の本、子育て中のお母さんが見る手芸・離乳食の本が近くに置いてあるので、キッズスペースのところを、そういったスペースに変えてほしい。

回答15 そのように設計しました。

意見16 「見せる書庫」について、最初は「圧巻」するが、使い勝手が悪く、地震の時に頭の上から落ちてくることを考えると、いかがなものかと。

回答16 「見せる書庫」については、意匠的な意味もありますが、閉架書架が5万冊と少ないことを踏まえ、その解決策として検討しているものであり、使い勝手や地震時の落下防止等については、今後、実施設計の中で解決したいと考えています。

意見17 新聞の棚について、1ヶ月分近く置くことで、職員の手間も省けてよい。

回答17 ご指摘のとおり、1ヶ月分近く置けるようにします。

意見18 太陽光発電設備を設置するのであれば、蓄電池も設置した方がよい。
(設置するスペースを検討すること。)

回答18 イニシャルコストとランニングコストの比較によるコスト面など、彦根市としてプラスになるのであれば、今後、検討したいと考えます。

意見19 「見せる書庫」は「生きた書庫」にしてほしい。

回答19 ご指摘のとおり、「生きた書庫」となるよう、今後、実施設計の中で検討したいと考えます。

意見20 閲覧ラウンジの雑誌架について、一番広いスペースで、なおかつ、玄関から入って最初に見えるところなので、もう少し雑誌架とソファに一体感があつた方がよい。

回答20 今後、実施設計の中で検討したいと考えます。

意見21 読書通帳機、自動貸出機の設置位置について、対象者を考慮したものとなっていない。

回答21 資料3のP5のとおり、修正しました。

意見22 (利用者用の) コピー機の設置位置について、利用者と職員の動線が重なると思うので、再検討してほしい。

回答22 資料3のP5のとおり、修正しました。

意見23 既存建物について、より自然換気が即されるよう、検討していただきたい。

回答23 今後、実施設計の中で検討したいと考えます。

意見 2 4 改修における Z E B について、先進的なものになるよう、検討してほしい。

回答 2 4 今後、実施設計の中で検討したいと考えます。

意見 2 5 滋賀県 material を使って、びわ湖材マークの認証を得るのは、ブランド的に見て必要かと思う。

回答 2 5 認証については、今後、関係部署と調整し、取得の方向で進めたいと考えます。

意見 2 6 Z E B R e a d y に伴うイニシャルコストとランニングコストを比較するなど、トータルで検討してほしい。

回答 2 6 ご指摘のとおり、Z E B R e a d y に伴うイニシャルコストとランニングコストについては、資料 3 の P 1 3 に記載しました。
今後、この結果を踏まえ、実施設計の中でどのように進めるか検討したいと考えます。

意見 2 7 (増築部分の外観(屏風)において、)すっきりした外装デザインなのに、(外観(屏風)下部の)網戸と開き窓では、野暮ったい。

回答 2 7 意匠的にすっきりとしたデザインになるよう、実施設計の中で検討したいと考えます。

意見 2 8 ラウンジ、一般開架の人口照明は、どのようなイメージをされているのか。

回答 2 8 資料 3 の P 1 0 から P 1 2 のとおり、計画しています。

意見 2 9 冬至、夏至のシミュレーションではなく、彦根の一番暑い日、寒い日でシミュレーションした方がいいのではないか。

回答 2 9 資料 5 (当日配布) のとおり、現段階でのシミュレーションを行いました。
まだまだ、改善の余地はあるので、実施設計でより良くなるよう、調整したいと考えます。

意見 3 0 カフェを併設する予定はないのか。

自販機設置ではなく、図書館をサポートするような交流が生まれるカフェができないか。

回答 3 0 旧ひこね燦ぱれすの利活用と図書館としての再整備を目的としていることから、まずは、皆様に喜んでいただけるような図書館を作らせて

いただきたいと考えています。

また、現図書館でも、本を汚す原因となる飲食については、禁止していますことから、カフェの併設は予定していません。

なお、熱中症対策として、水分を補給していただける場所を設置する予定はしています。